

# 狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

## 1 ジャンル

小学校2年生

道徳

C1 発表や話し合い

児童生徒

## 2 概要

SKYメニューの発表ノート機能を使い、自分を取り巻く環境について整理させることにより、命があるから好きな物がある、好きなことができるということに気付かせる。また、発表ノートをグループ機能を使って交流させて話し合わせることで、命についての考えを深めさせる。

## 単元(題材)名

「ぼく」

## 単元(題材)目標

自分の好きなところやいいところに気づき、自己を大切にしようとする心情を育てる。

## 活用したICT機器、アプリケーション等

SKYメニュー発表ノート


## 本時のめあて


主人公が自分を好きだという気持ちを考えた上で自分とはどんな人間なのかを見つめる活動を通して、自分の好きなところやいいところに気づき、自己を大切にしようとする心情を育てる。

## 本時の展開の概要

教材文を読み、主人公の好きな物を整理する。また、主人公が一番好きなものは「ぼく」と言っていることに注目させ、なぜ「ぼく」が一番好きなのかを考えさせた。展開後段において、発表ノートを開き、自分についてのカードをまとめる。また、まとめたカードを交流し、命について話し合う。

## 写真・記録

<b>好きなもの・好きなこと</b> 料理、旅行、キャンプ テレビを見ること、算数 お買い物、本を見ること、 空手、スイミング、卓球 絵画教室、テニス、 トイストーリー、ディズニー	<b>好きな食べもの</b> から揚げ、ステーキ、 チーズハンバーグ、パフェ 醤油ラーメン、 カレーライス。	<b>好きなけしき・ぼしょ</b> 駐車場の上から見る夏月 車の中から見ると夏月 とスカイツリー。
<b>好きな人</b> メダカ、日本カガ、弟、 絵画教室の先生、 学校の先生。		<b>自分の好きなところ</b> ドッジボールが強い、計算が早い 給食食べるのが早い、足が早い、 友達とよく遊ぶ、 笑わせることがとくい。



## ICT機器の活用でねらった効果

自分についてのことを意欲的にまとめること、主人公と同じように、自分も好きなものに囲まれていること、好きな物や好きな人がたくさんいること、自分の良さがたくさんあることが視覚的に理解できることをねらった。

## 児童生徒の様子(成果や課題)

全ての項目を道徳の時間内に入力することは難しいと考え、学活「自分のことをもっと知ろう」を計画し、ある程度カードをまとめた。  
授業では、中心発問において命があるから好きな物があるという主人公の心情について時間をとり考えさせたため、発表ノートを見合っただけで命について考えた時間も命という価値からずれず考えることが出来た。

狭山市立柏原小学校 名前: